

京都大学では、障害学生支援の窓口として、学生総合支援センターのなかに「障害学生支援ルーム」を設置しています。

障害学生支援について、難しく考える必要はありません。よりよい学生生活をおくるために、支援ルームのドアを開いてみてください。

相談
Consultation

障害学生支援ルーム
Disability Support Office

交流
Community

支援
Support

京都大学における、障害学生支援の拠点としての役割を果たしています。
本学の学生や教職員であれば、どなたでも利用可能です。

■ 吉田キャンパス本部構内地図



学生総合支援センター

障害学生支援ルーム

Disability Support Office

※ 来室の際に、介助が必要な場合は、ご連絡ください。

京都市左京区吉田本町 京都大学
吉田キャンパス本部構内 教育推進・学生支援部棟
(旧石油化学教室本館) 1階

TEL:(075)753-2317 FAX:(075)753-2319

MAIL : s-sien@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

2018.3



学生総合支援センター

障害学生支援ルーム

Disability Support Office

京都大学
Kyoto University



学生総合支援センター

障害学生支援ルーム

Disability Support Office

室長 林達也 (人間・環境学研究科 教授)

チーフコーディネーター 村田 淳 (准教授)

場所 吉田キャンパス 教育推進・学生支援部棟
(旧石油化学教室本館) 1階

開室時間 9:00～17:00

月曜日～金曜日 (祝日を除く)

相談

Consultation

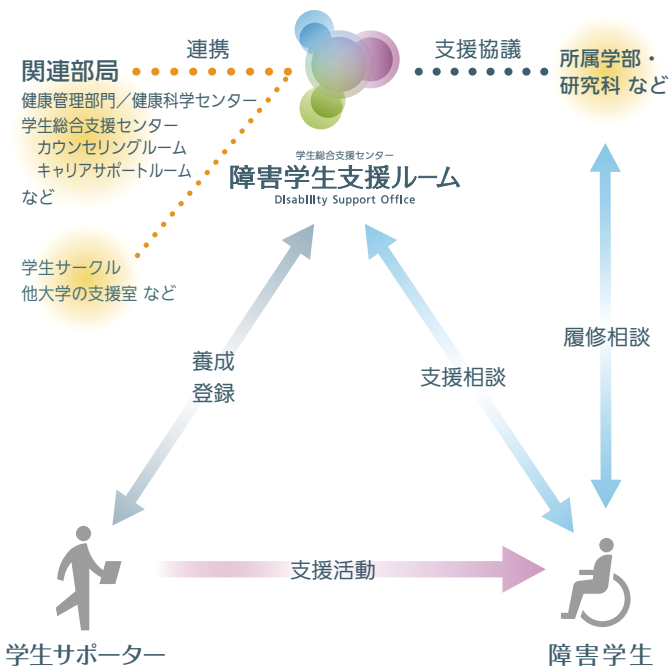


専任のスタッフが、障害があるなどの理由により、修学上の様々な悩みや相談ごとをかかえる学生の相談に応じています。また、教職員や保護者の方のご相談も可能です。



支援ルームスタッフが日々の相談に応じています。

支援体制図



交流

Community



支援ルームには、交流スペースを設けています。交流スペースは、開室時間内で開放し、障害学生と支援学生、さらには教職員も含めた交流の場になればとも考えていますので、気軽に立ち寄ってみてください。

また、障害に関する書籍や、支援に関するDVDなど、様々な情報を閲覧することができます。

支援

Support



支援は、障害のある学生本人からの申し出により、所属学部・研究科等や関連部局と連携しながら進めていくことになります。

支援の内容としては、修学・研究上で必要となる支援(情報保障、移動介助等)、また、支援物品の貸し出し、施設・設備の整備などです。

※以下は支援の一例です。

- 視覚障害・・・資料等の点訳・音訳、対面朗読、ガイドヘルプ、書籍等のテキストデータ化 など
- 聴覚障害・・・ノートテイク、PC文字通訳、映像教材の字幕付け など
- 肢体不自由・・・施設・設備の整備、教室変更、介助者の配置 など
- 発達障害・・・修学環境の調整、TAの配置 など



支援ルームでは、施設・設備の情報と目的地までのバリア(障壁)を表示したフリーアクセスマップを作成・配布しています。

- 吉田キャンパス1・2
- 桂キャンパス
- 宇治キャンパス

ご利用の方は、支援ルームまでご連絡ください。

また、関連書籍や支援物品の貸し出しを行っています。

貸出物品

- 関連書籍
- 車椅子
- 点字プリンタ
- 簡易筆談器
- 拡大読書器 など

